

カリキュラム ('05) ('15)	簿記原理応用編	担当教員：長 井 敏 行	2単位
設 題	<p><提出方法：インターネット提出></p> <p>次ページ以降の問題を解くこと。</p>		
作成方法は「ワープロ」			
ワープロ	通信教育部標準フォーマット。Word や PDF ファイルで保存してインターネット科目試験ページから提出。		
注意事項	「専用解答用紙」の表を自分で作成し、解答を入力して提出すること		

簿記原理応用編レポート課題

次は、損益の繰延と損益の見越を説明したものです。途中空欄にしてある仕訳及び勘定記入を完成させなさい。

近代会計の特徴は、すべての費用・収益を現金の収入・支出の有無にかかわらず、損益発生的事実に基づき適正な期間に計上することにある。これを発生主義 (Accrual Basis) という。しかし、費用・収益は、現金収支が行われたときに記録するのが普通であるから、日常は現金基準 (Cash Basis) に基づいて損益を記帳していることになる。したがって、決算日において現金基準による処理を発生基準に修正し、期間損益を正確に把握しなければならない。特に、以下の項目は経過勘定と呼ばれ、損益の繰越・見越の典型である。

I. 費用の繰延

支払保険料、支払家賃、支払利息などの支払額から次期に属する前払額 (前払費用) を控除し、その額を次期に繰延べる。次期に繰延べられた額は、一括して前払費用と呼ばれ、これをそのまま勘定科目としても使用するが、これには前払家賃、前払保険料、前払利息などがある。したがって、この個々の項目を勘定科目として使用することもよくある。以下、保険料を例にとりて説明する。

例) 4月1日、火災保険料1年分¥12,000を、小切手を振り出して支払った。

仕訳	借方	貸方
	勘定科目	金額
	(1)	(2)
	(3)	(4)

6月30日、本日決算日 (年一度) を迎え、上記費用の整理を行った。

保険料を支払ったときは、現金基準によりその全額が費用として処理されているので、これを発生基準に基づいて当期の費用に属する額と次期以降に属する分に配分し直さなければならない。

図示すると、

現金基準 4月1日、1年分が既に費用として支出されている

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
発生基準	3/12 当期分			9/12 来期分 (前払額—資産)								

↑
決算日

期中に現金支出したとき、費用として記録していた額を発生基準により見直して、正しく費用を期間配分するためには、6月30日が決算日であるから、¥12,000のうち、次期に帰属すべき9/12の¥9,000を来期分として、¥3,000を当期分としなければならない。

したがって、既に支出し費用として記録していた金額から、未だ提供を受けていない役務に対する前払額 (来期帰属分) を繰延控除すると、当期帰属費用分が確定する。これを仕訳の形で示すと、

仕訳	借 方		貸 方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
	(<u>5</u>)	(<u>6</u>)	(<u>7</u>)	(<u>8</u>)
または	(<u>9</u>)			

支払保険料の差額を損益勘定へ振り替えた。

以上の仕訳を元帳勘定へ記入すると次のようになる。

10 支払保険料	

11 未経過保険料	

未経過保険料の¥9,000は、時の経過と共に次期に費用となるものであるから、翌期首において支払保険料勘定に振り替えておけば、次期においても日常的には現金基準によって処理し決算にて発生基準に基づいて見直すという処理法を一貫して継続することができる。記帳は、現金の収支と共に行うのが通常であるから、期首に振り替えておかなければ、当期に帰属すべき支払保険料を計上し忘れるかもしれない。これを防止することにも実質的意味がある。この仕訳を再振替仕訳あるいは振戻仕訳といい、元帳への記入を再振替記入あるいは振戻記入という。

7月1日、未経過保険料勘定の残高¥9,000を支払保険料勘定に振り戻した。

仕訳	借 方		貸 方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
	(<u>12</u>)	(<u>13</u>)	(<u>14</u>)	(<u>15</u>)

この仕訳を上記の元帳勘定に記入した結果は次のようになる。

支払保険料				未経過保険料			
4/1 当座預金	12,000	6/30未経過保険料	9,000	6/30未経過保険料	9,000	6/30 次期繰越	9,000
		" 損益	3,000	7/1 前期繰越	9,000	7/1 支払保険料	9,000
	12,000		12,000				
7/1未経過保険料	9,000						

II. 収益の繰延

収益の繰延の場合も同様で、すでに現金基準で処理した受入収益を決算日において発生基準に基づいて見直し、収益の期間帰属を正しく把握するのである。この場合は、受取保険料、受取家賃、受取利息など受け取った収益から次期に帰属すべき金額を控除し、その額を次期に繰り延べるのである。次期に繰り延べられた額は、一括して前受収益と呼ばれ、これをそのまま勘定科目としても使用する。これには前受家賃、前受保険料、前受利息などがある。以下、家賃収入を例にして説明する。

例) 4月1日、家賃1年分¥60,000(月額¥5,000)を現金で受け取った。

仕訳	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
	(<u>1</u>)	(<u>2</u>)	(<u>3</u>)	(<u>4</u>)

6月30日、本日決算を行い上記収益の整理を行った。

現金基準 4月1日、1年分が既に収益として収納されている

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
発生基準	3/12 当期分			9/12 来期分 (前受収益---負債)								

↑
決算日

期中に現金を受け入れたとき、収益として記録していた額を発生基準により見直して、収益の期間配分を決定するためには、6月30日が決算日であるから、¥60,000のうち、次期に帰属すべき9/12の¥45,000を来期分として、¥15,000を当期分としなければならない。

したがって、既に支払を受け収益として記録していた額からいまだ役務を提供していない前受額(来期に帰属すべき金額)を繰延控除すると、当期分が確定する。これを仕訳の形で示すと、

仕訳	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
	(<u>5</u>)	(<u>6</u>)	(<u>7</u>)	(<u>8</u>)
			または	
			(前受収益)	

以上の仕訳を元帳勘定へ記入すると次のようになる。

仕訳	借方	貸方
	勘定科目	勘定科目
	金額	金額
	(<u>7</u>)	(<u>9</u>)
	(<u>8</u>)	(<u>10</u>)
	(<u>11</u>)	(<u>12</u>)

したがって、下記のごとく期首に振替仕訳をして未払利息勘定（未払費用勘定）の残高を支払利息勘定に振り戻して貸記しておけばよい。振替仕訳を行えば、期末に発生基準に基づいて見直すという処理法を首尾一貫して継続することが出来るばかりか、手数を省き処理を容易にすることができる。

10月1日（振替仕訳）

仕訳	借方	貸方
	勘定科目	勘定科目
	金額	金額
	(<u>13</u>)	(<u>15</u>)
	(<u>14</u>)	(<u>16</u>)

11月1日の仕訳

仕訳	借方	貸方
	勘定科目	勘定科目
	金額	金額
	(<u>17</u>)	(<u>19</u>)
	(<u>18</u>)	(<u>20</u>)

以上の仕訳を勘定に記入すると次のようになる。

21 支払利息	
4/1 現金	1,000
8/1 "	3,000
<hr/>	
22 未払利息	

IV. 収益の見越

収益の見越の場合も同様で、まだ現金の収入は行われていないが、すでに収入すべき事実が発生している当期の収益を当該収益勘定の加算（もしくは新しく当該収益勘定を設定）し、収入すべきではあるがまだ収入していない権利を未収収益勘定（資産）で処理する。現金基準では、日常、記帳しえないこのような当期の収益を発生基準に基づいて見越計上して、収益の期間帰属を正しく把握するのである。

未収収益には、未収保険料、未収家賃、未収利息などがある。以下、未収家賃の発生を見越した例で説明する。

例) 9月30日、毎翌月の1日を支払日とする建物の賃貸契約(1ヶ月¥5,000)を4月1日に結んでいたところ、本日決算を迎えた。9月分については、すでに建物を提供しているにもかかわらず、対価としての家賃が未収なのでこれを収益の発生とみなして見越計上した。

発生基準	← 当期発生分 →											
	現金基準					未収						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3

↑
決算日

1ヶ月分¥5,000の未収額については、すでに建物を提供しているにもかかわらず、対価としての家賃が未収なのでこれを収益の発生とみなして見越計上すべき金額である。しかし、日常的な現金基準では期中に記録する機会がないので、決算日に収益の当期発生分を正しく認識し、その額を収益として受取家賃勘定の貸方に記入し、未収額を資産として計上しなければならない。次にその仕訳と記入を示す。

9月30日

仕訳	借方		貸方	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
	(1)	(2)	(3)	(4)

5 受取家賃

	5/1 現金	5,000
	6/1 "	5,000
	7/1 "	5,000
	8/1 "	5,000
	9/1 "	5,000

6 未収家賃

専用解答用紙

学籍番号 _____ 氏名 _____

※以下、すべての解答用紙の上部余白に学籍番号と氏名を記入すること。

I.費用の繰延

1		2	
3		4	
5		6	
7		8	
9			
10	支払保険料		
	_____	_____	_____
	_____	_____	_____
	=====	=====	=====
11	未経過保険料		
	_____	_____	_____
	=====	=====	=====
12		13	
14		15	

専用解答用紙

学籍番号 _____ 氏名 _____

Ⅱ. 収益の繰延

1		2	
3		4	
5		6	
7		8	
9		10	
11		12	
13	<p style="text-align: center;">受取家賃</p> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border-right: 1px solid black; padding-right: 5px;"> <hr/> <hr/> <hr/> </div> <div style="width: 45%; padding-left: 5px;"> <hr/> <hr/> <hr/> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">7/1 前受家賃 45,000</p>		
14	<p style="text-align: center;">前受家賃</p> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border-right: 1px solid black; padding-right: 5px;"> <hr/> <hr/> </div> <div style="width: 45%; padding-left: 5px;"> <hr/> <hr/> </div> </div>		

専用解答用紙

学籍番号 _____ 氏名 _____

Ⅲ.費用の見越

1		2											
3		4											
5	<p style="text-align: center;">支払利息</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">7/1 前受家賃 45,000</p>												
6	<p style="text-align: center;">未払利息</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 3px double black;"></td> <td style="border-bottom: 3px double black;"></td> </tr> </table>												
7		8											
9		10											
11		12											
13		14											
15		16											
17		18											
19		20											
21	<p style="text-align: center;">支払利息</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td>4/1 現金 1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8/1 " 3,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> </table>					4/1 現金 1,000		8/1 " 3,000					
4/1 現金 1,000													
8/1 " 3,000													
22	<p style="text-align: center;">未払利息</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 3px double black;"></td> <td style="border-bottom: 3px double black;"></td> </tr> </table>												

専用解答用紙

学籍番号 _____ 氏名 _____

IV.収益の見越

1		2																	
3		4																	
5	<p style="text-align: center;">受取家賃</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"></td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;"></td> <td>5/1 現金 5,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;"></td> <td>6/1 " 5,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;"></td> <td>7/1 " 5,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;"></td> <td>8/1 " 5,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;"></td> <td>9/1 " 5,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;"></td> <td style="border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;"></td> <td></td> </tr> </table>						5/1 現金 5,000		6/1 " 5,000		7/1 " 5,000		8/1 " 5,000		9/1 " 5,000				
	5/1 現金 5,000																		
	6/1 " 5,000																		
	7/1 " 5,000																		
	8/1 " 5,000																		
	9/1 " 5,000																		
6	<p style="text-align: center;">未収家賃</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"></td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;"></td> <td style="border-bottom: 3px double black;"></td> </tr> </table>																		
7		8																	
9		10																	
11		12																	
13		14																	
15		16																	
17		18																	
19		20																	